

令和4年度第3回
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会
議事要旨

- 1 日時 令和4年8月8日（月）午後2時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階（P1）会議室
- 3 出席委員 （会場出席）浅田委員長、網代委員、奈良委員、原委員、槇山委員、南委員
（ウェブ会議出席）吉川委員

4 議事内容

（1）公立大学法人大阪令和3事業年度の業務実績に関する評価について

- ・ 事務局より前回審議した小項目の継続審議項目の結果について、資料1-1「小項目評価の審議結果」を基に説明があった。
- ・ 続いて、事務局より資料1-2「公立大学法人大阪令和3事業年度の業務実績に関する評価結果（案）」及び資料1-3「公立大学法人大阪令和3事業年度の業務実績に関する評価結果（概要）」の説明があり、大項目評価及び全体的評価についての審議を経て、評価結果が決定された。なお、最終の評価結果のとりまとめにあたっては、委員長と事務局にて文案等の調整を行うこととなった。

<主な意見>

- 「大阪府立大学の教育研究」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）を妥当とする。
 - ・ 委員会としては機械的に判定するのではなく、A評価という考え方もあり得たが、Ⅱ評価としているNO.22「研究成果の発信・還元」は重要な項目なので、B評価を妥当とする。
- 「大阪市立大学の教育研究」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「大阪府立大学工業高等専門学校」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）を妥当とする。
 - ・ 新大学において重要な項目であるNO.79「理事長のトップマネジメント」でⅡ評価となっていることからB評価が妥当である。
- 「財務内容の改善」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、B評価（「おおむね計画通り」進捗している）を妥当とする。
 - ・ 財務内容と財政状態の用語を使い分けているが、何等かの意味はあるのか。内容として問題があるわけではないが、使い分けがあるのか否か確認いただきたい。
- 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、A評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。

- 「その他業務運営に関する重要目標」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、B 評価（おおむね「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 「両大学の統合等に関する重要目標」に関する大項目評価
 - ・ 全体として、A 評価（「計画どおり」進捗している）を妥当とする。
- 全体評価に係る意見
 - ・ 民間企業からみても大学統合した後の効果としては、総合知や分野融合等を活かした地域の社会課題解決に期待をしているところがある。「社会貢献機能の更なる充実」と記載があるが、新大学に求める機能としては、「社会課題解決の機能の更なる充実」とした方がよいのではないか。
 - ・ 公立大学法人大阪の基本的な目標において、3つの重点目標があり、その一つに統合の効果を発揮して高度研究型大学の実現とあるが、そのために行っている取組みが物足りなさを感じる。令和元年度に作成された中期計画に従って、評価せざるを得ないというのは理解できるが、他大学だと、科研費の獲得や共同研究費の確保等、もう少し多様な項目があるもので、今後目標を立てる際は、もう少し考慮いただきたい。
 - ・ 大学が統合した令和4年度の評価については、かなり問われるところになると思う。情報発信をする上では、先生の研究だけではなく、事務方も含めて、見え方、見せ方を考え、メッセージ性があり、外部から評価されていると認識をいただきたい。

以上